

コダイラ KFL32改 ダンプセミトレーラ外觀図
(KFL32-3056)



自 佐 野 第 59 号
令 和 4 年 10 月 3 日

小平産業 株式会社 殿

独立行政法人自動車技術総合機構
関東検査部 佐野事務所



改造等の概要

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

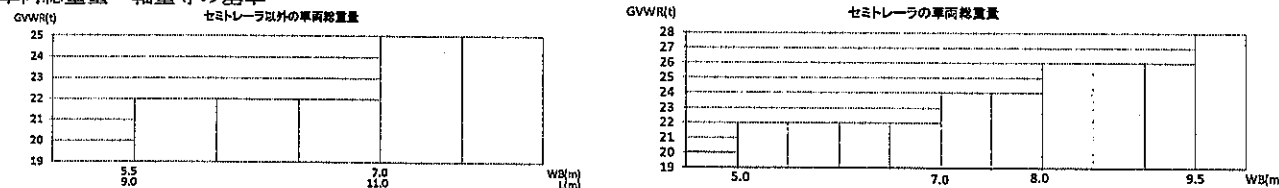
[指示事項]

- ・審査の際は本紙、改造部分詳細図を提示すること。
- ・本改造は、車台番号「KFL32-3056」の1台に限る。
- ・けん引自動車は、いすゞ・PDG-EXD52E8 (第5輪荷重11,500kg) で検討した。

主要諸元比較表 標準車欄の類別等を記載する。(4001)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度
車名	コダイラ	←		乗車定員	人	-	
型式	KFL32	KFL32改		最大積載量	kg	28,200	23,400
自動車の種別	普通	←		車両重量	前前軸重	-	9,300 ≤10t (11,990 kg)
用途	貨物	←			後前軸重	-	8,895 ≤9.5t (10,180 kg)
車体の形状	セミトレーラ	ダンプセミトレーラ			後中軸重	-	8,895 ≤9.5t (10,180 kg)
燃料の種類	-	-			後後軸重	-	8,890 ≤9.5t (10,180 kg)
原動機型式	-	-			計	-	35,980 ≤36t (35,980 kg)
総排気量(L)又は定格出力(kW)	-	-		最大安定傾斜角度°	左	49	40 一般≥35° その他≥30°
長さ	12.51	10.67	≤13m	前前軸	-	-	(- kg)
幅	2.49	←	≤2.5m	後前軸	11R22.5-14PR	11R22.5-16PR	(10,900 kg)
高さ	2.27	3.66	≤3.8m	後中軸	11R22.5-14PR	11R22.5-16PR	(10,900 kg)
軸距	6.91+1.30	5.42+1.30		後後軸	11R22.5-14PR	11R22.5-16PR	(10,900 kg)
	+1.30=9.51	+1.30=8.02		前輪荷重割合	空車	-	≥18, 20%
輪距	前軸	-		リヤ・オーバーハング	m	2.42	1.70 ≤1/2, 11/20(2/3L) (5.34 m)
	後軸	1.84	←	荷台オフセット	m	2.36	1.85
荷台の内側の寸法	長さ	12.18	9.70	最小回転半径	m	10.2	8.8 ≤12m
	幅	2.44	2.30				
	高さ	0.00	1.80				
車両重量	前前軸重	-	2,860				
	後前軸重	-	3,240				
	後中軸重	-	3,240				
	後後軸重	-	3,240				
計	-	12,580					

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤ 18t	kg ≤ 20t	17,790 kg ≤ 19t

能力強度検討書

制動力	踏力	N	km/h	μ	車軸強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.6
	空気圧	kPa			制動装置強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.3
推進軸強度	回転数	Nc/Np			制動装置強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.6
	強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$		制動装置強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.3
車軸強度		$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$		制動装置強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.6
		$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$		制動装置強度	$\sigma_B/\sigma =$	$\sigma_Y/\sigma =$	≥ 1.3

- 注1: 能力検討欄は、該当しないものは-、省略したものは×を記入すること。
- 注2: 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3: 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9.(1)関係)

目的	ダンプセミトレーラとして架装するため
車枠及び車体	軸距間フレーム短縮に伴い最遠軸距を短縮(9.51→8.02m)
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	リーフスプリングをアンチコ社製ASF280型のものに変更 長さ1130mm、幅90mm、板厚13mm、板数9枚
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。
- 注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2, 第63条の3関係)